



Air
Construction
Water
Satisfaction

令和4年度 福島県 女性活躍・働き方改革促進事業
働き方改革モデルづくり

株式会社アクーズ会津

会社概要

社名	株式会社アークズ会津
所在地	福島県会津若松市千石町4番50号
設立	昭和34年5月21日
従業員数	男性60人 女性10人
業務内容	設備工事の請負並びにメンテナンス業務
経営理念	「豊かな環境づくりで社会に貢献する」



取り組みのきっかけと目標

1. 恒常的な長時間労働を見直す必要があると感じていた。
2. 採用・定着に課題を感じていたため、社内制度の再検討が必要であった。
3. 社内全体に「建設業における女性活躍推進と働き方改革は難しい」という思い込みがあり、2024年の法改正にどのように対応すればよいか課題となっていた

以上のことから、3つの目標に向けて取り組みをスタート

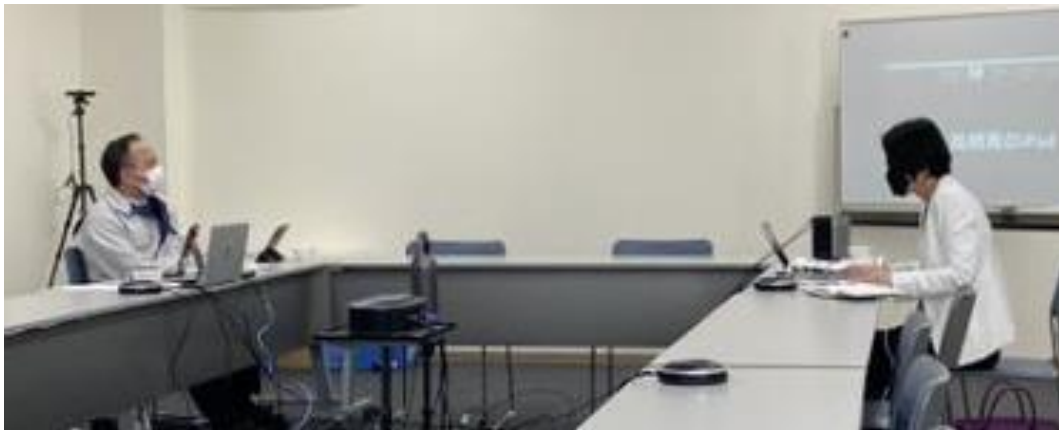
働き方改革の本質を理解し
社内全体のマインドセットを図る。

女性が働きやすい職場環境構築のため
社内制度の見直しを行う。

ライフとワークの両立ができ、
全社員がいきいきと働き続けられる。

取り組み内容

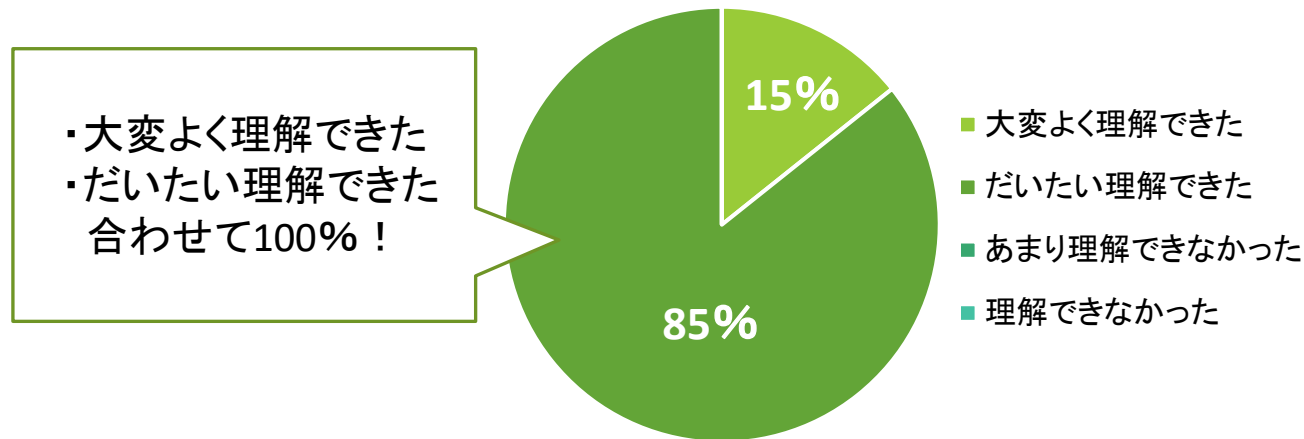
1. 経営層・管理者層対象の働き方改革セミナーを開催。建設業は特殊な業界であるため「出来ない」「無理」という思い込みが強く、なぜ働き方改革が必要なのか、具体的に何をすればいいのかを、社会背景と事例を学んで共通認識を持つことからスタートした。
2. 勉強会の成果について、振り返りと今後の展開について受講者アンケートを実施。それぞれ現場における現状と課題を確認した。
3. 女性活躍推進が今後の課題であることから、女性だけではなく、若手男性社員も働きがいを感じられるよう、男性育休等の制度について情報をアップデートした。



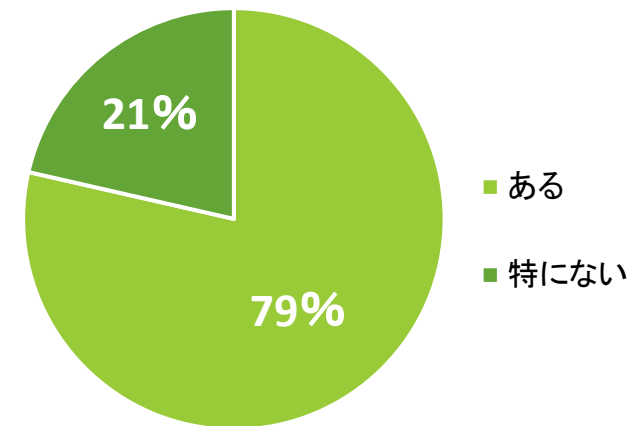
取り組み成果

1. 経営層・管理者層セミナーを実施したことで、働き方改革の本質理解が深まり、「自社では取り組みが難しい」という思い込みから、「どうすれば出来るか」という意識へ大きく変化した。
2. セミナー後のアンケート調査では、働き方改革の必要性についての理解が深まり、多くの気づきがあったことが見受けられた。
3. この取り組みをきっかけに、現在、「次世代育成支援企業認証」の申請を準備中。

働き方改革の必要性について



印象に残った内容はあるか



アンケート結果から(抜粋)

✓印象に残った内容

「これまでの常識や慣習にとらわれず、多様な働き方を認め合うことで時間当たりの生産性は向上する」というところに気づきがあった。

勤務間インターバル制度の必要性。人間の脳の集中力には限界があるということ。

世界の中でも日本は、労働時間が長い上に残業等で長時間労働である。一見真面目であるが、生産性が伴っていない。

✓今後、職場でどのように活用したいか

若年層と積極的にコミュニケーションをとり、普段思っていること、感じていることを収集し、業務改善を継続する。

まず、「できない」という言葉・意識を変えていくことから始め、他へのアピール、常に万が一のバックアップのための協力体制など、社内実態からの対策を出し合い、少しずつでも前に行けるような体制をつくる。

まずは意識すること、考えること、気づくこと。慣例、習慣を変える意識改革につなげたい。

働き方改革による職場環境の充実、効率化による生産性のアップを目指す。

男女ともに安心して活躍できる職場づくり。

取り組みから感じたこと

全体の感想

2024年度の法改正に対応できる企業体質に変革することが急務であると感じていたところ、働き方改革について、コンサルタントと共に取り組みを進めたことで、社員の理解が深まり、意識改革に繋がった。

また、一般事業主行動計画の策定や就業規則の見直しをスムーズに実施できた。社内には時間当たりの労働生産性を意識する風潮が広がってきている。

今後に向けて

定期的なセミナー開催等により、働き方改革の推進とマンネリ化の抑制に努め、継続的に業務改善できる仕組みを確立する。

また、年齢や立場に関係なく、自由闊達に意見が言い合える企業風土を醸成する。